

2016年4月7日

成田国際空港内 CBRNE 事案対処訓練について

成田国際空港内において爆発物によるテロ事案が発生したことを想定し、水際関係機関による CBRNE 事案対処訓練を下記のとおり実施いたします。本訓練は本年5月に開催される伊勢志摩サミット(主要国首脳会議)を見据え、空港全体での CBRNE 事案発生時の対処能力の向上と連携の強化を目的として実施いたします。

(CBRNE(シーバーン)とは: Chemical(化学)・Biological(生物)・Radiological(放射性物質)・Nuclear(核)・Explosive(爆発物)の頭文字をとったもので、1990年代以降これらを特殊兵器として用いるテロリズムの脅威に対して発生した総称としての概念であり、近年はテロのみならず事故や災害等も CBRNE 事案として捉えられております。)

記

1. 日 時: 2016年4月14日(木)午前9時30分～11時00分までの間
2. 場 所: 第2旅客ターミナルビル受託手荷物受取所(Aゾーン側税関検査場内)
第2旅客ターミナルビル到着手荷物荷捌き場(ソーティング場・第9警備所付近)
3. 共 催: 千葉県警察本部、財務省東京税関成田税関支署、成田市消防本部、成田国際空港株式会社(事務局)
4. 参 加 機 関: 日本医科大学成田国際空港クリニック、成田国際空港警備隊、成田国際空港警察署、日本航空株式会社、株式会社 JAL グランドサービス、法務省東京入国管理局成田空港支局、セコム株式会社、NAA セーフティサポート株式会社、成田空港警備株式会社
5. アドバイザー: 株式会社重松製作所 濱田昌彦様
6. 訓 練 項 目: 爆発物テロ事案対処訓練(避難誘導訓練、消火・救助訓練、爆発物処理訓練)
(訓練概要)

受託手荷物が荷捌き場において爆発したため、旅客の避難誘導を実施し、爆発現場での消火・救助活動を実施する。また、別の受託手荷物からも爆発物反応があったため、爆発物処理活動も併せて実施する。

以上